



2024 年 2 月

人権問題や労働環境改善など「サプライヤー支援拡大」のため、Sedex の情報共有 プラットフォームの利用を開始

森永乳業グループは、サプライチェーン上で発生する可能性のある環境・社会課題リスクを管理し、サプライヤー支援の拡大を目的として、2023 年 12 月より、Sedex（※1）に加入し、情報共有プラットフォーム利用を開始しました。

（※1）サプライチェーン評価のための世界最大のデータプラットフォームで、持続可能性の実践を記録、分析、共有し、報告することを可能な世界有数の組織。企業の責任ある持続可能なビジネスおよび責任ある調達をサポートするサービスを提供しており、180 カ国・地域にわたり、75,000 以上の会員を有しています。



森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、サステナビリティ中長期計画 2030 を掲げています。「食と健康」「資源と環境」「人と社会」を軸に活動を行い、7 つのマテリアリティ（重要取組課題）ごとに KPI を設定し、課題解決に向けて取り組んでいます。

マテリアリティの 1 つである「持続可能な原材料調達」では、サプライヤー支援拡大を KPI に掲げ、サプライチェーンに影響する環境課題・社会課題の解決の支援を行ってきました。これからもサプライヤーの課題解決の継続支援も行いながら、持続可能なサプライチェーンを実現していきます。